

## 第 715 回 新潟放送番組審議会 議事録

### — 議 題 —

テレビ番組「にいがたの星！ ピカピカ☆アスリートごはん」  
に関する意見交換

令和 8 年 3 月 12 日

**BSN**新潟放送

## 第 715 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 8 年 3 月 12 日(木)午前 11 時から

2. 開催場所 BSN 新潟放送 本社 6F 会議室

### 3. 委員の出席

○ 委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	馬場 省吾	委員	馬場 幸夫
委員	石坂 智恵美		

○ 審議番組事前レポート提出者

副委員長	佐藤 元	委員	高橋 信
委員	渡邊 信子	委員	大橋 未来子
委員	三井田 由香	委員	太田 勇二

○ 放送事業者側出席者

社長	島田 好久		
取締役	小湊 潤（編成業務局担当役員）		
取締役	島田 讓（報道制作局担当役員）		

<説明員> 内藤亜沙美（営業推進部部長代理）

事務局長	間瀬 学（編成業務局長）		
事務局	品田 泰（編成業務局テレビ編成部長）		

### 4. 議 題

1 報告事項 令和 8 年 3,4 月のネット単発番組・自社制作番組について(各担当)

2 審議番組 テレビ番組「にいがたの星！ピカピカ☆アスリートごはん」  
放送日時: 2026 年 1 月 17 日(土) 16:00~16:54

## 5. 議事の概要

島田社長の挨拶に続き、各担当者より2026年4月度の番組報告が行われた。続いて、1月17日に放送されたテレビ番組『にいがたの星！ピカピカ☆アスリートごはん』についての審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 新潟ゆかりのアスリートたちの「食」にスポットを当て、知られざる素顔や努力の軌跡を丁寧に描いており、応援したくなる内容だった。特に選手の弾ける笑顔が印象的だった。
- アスリートの食事だけでなく、専門家の解説を交えることで、視聴者の日常生活や子育てにも役立つヒントが盛り込まれていた点を高く評価したい。
- デフバドミントンの沼倉夫妻のエピソードには胸を打たれた。「聞こえないことは夢を諦める理由にならない」という強いメッセージと、家族の絆を育む食卓の風景が素晴らしかった。
- インタビューにおいて、質問の言葉選び（「要因」と「武器」の混同など）に不明瞭な点が見受けられた。よりの確かな言葉で問いかける工夫が必要である。
- 「アスリートごはん」というテーマであれば、プロとしてのより厳格な食事管理や日々の具体的な献立などの要素も入れるなど、もう一步踏み込んだ内容も知りたかった。
- 最初は演出やナレーションがややこども向けに寄りすぎている印象を受けたが、こどもにもぜひ見て欲しい番組であるコメントを聞いて納得した。こども向けのメッセージなどがあれば、もっと良かったかも知れない。
- 料理紹介コーナーで、アスリートの好物と提案レシピの具材が重複していた。バリエーションを持たせた方が、より情報の幅が広がったのではないか。

～制作ディレクター 内藤亜沙美より～

貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。「営業局発」という弊社ではあまり例の少ない試みの中、限られた条件下で模索しながらの制作でしたが、映し出されたアスリートたちの姿から様々なことを感じとっていただけたことは、制作者としてこの上ない喜びです。「食」という切り口からアスリートの素顔を引き出した点にご評価をいただいた一方で、「もっとアスリートの具体的な食事管理についても知りたかった」というご意見も頂戴し、そこは足りていなかった部分だと反省しております。さらに、「ターゲット設定の明確化」など、頂いたご指摘を真摯に受け止め、今後の番組づくりに活かしていきたいと思っております。キッズプロジェクトを推進するBSNとして、これからも新潟のこどもたちの夢を応援できるような番組を追求してまいります。

【文責：番組審議会事務局】